

埼玉県議会議員

県政報告

令和7年(2025年)秋号

阿左美けんじ

A S A M I

K E N J I

URL <https://asami-kenji.com/>県議会9月
定例会報告

補正予算合計 151億2,620万5千円等を議決

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第3号】(88億4,620万5千円)及び流域下水道事業会計補正予算【第2号】(62億8,000万円)等を議決し、10月15日に閉会しました。一般会計の補正後累計は2兆2,490億4,092万7千円となりました。

補正予算の主な内容は、公共事業の追加、適正工期の確保や、病床数の適正化を進める医療機関に対する給付金の支給、流域下水道事業会計に関する予算となります。

下水道管緊急対策費55億円を計上

八潮市内で発生した道路陥没事故を受け行われた全国特別重点調査の結果、県管理の下水道管路で速やかな対策を必要とする「緊急度I」の箇所は3.5kmあることが判明。県は流域下水道事業会計補正予算として55億円を計上し、急ぎ改築工事が進められることになりました。

また、八潮市の道路陥没復旧工事によって影響を受ける住民及び事業者への補償費等として7億8,000万円が計上されました。

一般質問に登壇(10月3日)

県に対し9項目17件について質問・提言を行いました

主な質問内容と答弁を掲載します。



●地上デジタル放送の難視聴地域の 共聴組合に対する支援について

Q 小鹿野町や皆野町にはテレビの視聴が困難な地域があり、共聴施設を組合が維持管理してテレビを視聴している。共聴組合にはNHKと地元住民共同によるNHK共聴組合と、地元住民のみの自主共聴組合があり、特に自主共聴組合は施設の維持・管理の負担が大きくなっている。難視聴地域の県民が安心してテレビ視聴ができるよう、県はどのように取り組んでいくのか、大野知事の所見を伺う。

A **大野知事** 電波法の規定で、難視聴対策は国が主体に進めるべきものであり、県はこれまでも国に対し、自主共聴施設への支援制度の拡充などの要望を行ってきた。令和7年度からは、市町村が共聴施設の改修等を行う場合の補助制度が拡充されたが、自主共聴組合に対する支援は、依然として措置されていない。引き続き国に対し要望をしていきたい。

●就職氷河期世代への支援について

Q 就職氷河期世代の方々の、就職したい意思があるのにできない人や、不本意に不安定な仕事に就いている方への支援について、これまで県はどのような取り組みを行ってきたのか。また「誰一人取り残すことなく、日本一暮らしやすい埼玉の実現」を目指している知事に、今後の対応について伺う。

A **大野知事** 県では令和2年度に「埼玉就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」を設置し、正社員化等に取り組んできた。埼玉しごとセンターでは相談やセミナー等を実施するとともに、令和5年度には常設の相談窓口を設置した。また若者自立支援センター埼玉でも個別相談やセミナーのほか、令和6年度からはメタバースを活用した支援を開始した。こうした取り組みの結果、5年間で約2万7千人の正社員化を実現した。令和7年度は「埼玉中高年世代活躍応援プロジェクト協議会」を設置し、5千人を超える正規雇用での就業を目指している。引き続き就職氷河期世代への支援に全力で取り組む。

所属委員会 総務県民生活委員会(委員長)、危機管理・大規模災害対策特別委員会、図書室委員会(委員長)

阿左美健司の活動報告は
ホームページでもご覧になれます。→



▲県議会9月定例会では一般質問に登壇し、9項目17件について県の施策を質(ただ)しました。写真は「就職氷河期世代への支援について」パネルで実数を示しながら、就職したい意志があるのにできない人や、不本意に不安定な仕事に就いている方に対して、さらなる支援の充実を提言しました。

●第75回全国植樹祭の『活樹』は足元からについて 埼玉地域森林計画の改定について

Q 地域森林計画は、民有林の森林整備と保全の目標等を定める計画とはいえ「森林整備等」を目的としているもので、森林環境譲与税の趣旨、目的と同じ。埼玉地域森林計画にも森林環境譲与税活用の内容を盛り込むべきと考えるが、今後の計画の改定について伺う。

A **農林部長** 埼玉地域森林計画に、活樹の推進や森林環境譲与税の積極的な活用を盛り込むことは必要。活樹や森林環境譲与税の活用を進めるため、改定する内容を検討し、国など関係機関との協議を進め、早期に埼玉地域森林計画へ反映するよう取り組む。

●林野火災の予防と延焼防止対策について

Q 今年だけで全国各地で100haを超える大規模な林野火災が既に5件発生している。埼玉県内でも発生する恐れがあり、林野火災を拡大させないためには防火帯の整備が有効と考える。防火帯は森林整備の作業効率向上にも寄与すると考えるが、所見を伺う。

A **農林部長** 現在、国において「林野火災注意報」の制度が創設され、また消防本部を持つ各市や各組合において火災予防条例の改正等の準備がされている。県が整備を進めている森林管理道も防火帯としての効果が期待できる。今後、森林所有者、森林組合、市町村などに意見を伺いながら、森林管理道の整備も含めた防火帯の整備を検討していきたい。

●ナラ枯れ対策について

Q 近年、ナラ枯れ被害が全国的に深刻化している。秩父の観光資源でもある貴重な森林資源をナラ枯れから守っていく必要がある。ナラ枯れ対策と今後の展望について伺う。

A **農林部長** ナラ枯れ被害は、令和6年11月末現在、県内48市町村で確認されているが根絶は困難。現在、県や市町村などで構成する埼玉県ナラ枯れ被害対策会議を設置し、情報を共有し対策を進めている。令和6年度からは、市町村による被害木の処理や健全な木の予防対策、高齢木や太い木の予防的伐採などの支援策を講じている。また、伐採された木を家具に生まれ変わらせる取り組みも進んでいる。今後も関係機関と連携し、効果的なナラ枯れ対策を進めていく。

●リアル体験教室の県内全域開催について

Q リアル体験教室の開催場所は秩父地域がない。県内全域で実施すべきと考える。今後の実施計画について伺う。

A **県民生活部長** 令和6年度は42テーマ47教室を開催し1,683名が参加した。他方、議員ご提案のとおり参加のしやすさなどを考えると、秩父地域も含め県内全域で開催することが大事だと考える。各地域の経済団体等にも協力をいただきながら、令和8年度は地域バランスの取れた教室が開催できるよう取り組んでいく。

●県立近代美術館の更なる魅力向上について 企画展等の充実について

Q 県立近代美術館では、美術館が所有する作品を中心に観覧できる常設展と様々な企画展が開催されている。県立近代美術館の存在感を高め、県民の文化芸術活動の振興を図るためにも、企画展等の充実が重要だと考えるが所見を伺う。

A **教育長** 県立近代美術館では、時代やジャンルのバランスを踏まえながら、本県ゆかりの作家を取り上げるなど特色を活かした展示を行ってきた。今後もさらに企画展等の充実を図り、多くの県民にご来館いただけるよう取り組んでいく。

収蔵資料の活用について

Q 県立近代美術館には「ピカソ」「モネ」「横山大観」など著名な作家の作品も所蔵されている。収蔵作品の活用状況について伺う。

A **教育長** 常設展は概ね3か月程度のサイクルで展示替えを行い、収蔵資料を様々な視点から紹介している。今後も企画展など収蔵資料の活用に努める。

子どもたちに向けた取り組みについて

Q 子どもたちの文化芸術に触れる機会を充実させるべきと考える。子どもたちに向けた取り組みの実施について伺う。

A **教育長** 県立近代美術館では、子どもたちにとって、作品を鑑賞だけでなく、自ら作品を制作することができる様々なワークショップを開催している。さらに、県内の児童生徒を対象とする美術コンクールでは、令和6年度には217点の応募があった。引き続き、子どもたちの文化芸術に触れる機会を充実させていく。

●地元問題について 横瀬町の倉掛沢の土石流対策について

Q 土砂災害警戒区域等に指定されている倉掛沢の土石流対策について、現在の状況と今後の見通しについて伺う。

A **県土整備部長** 令和3年度から砂防堰堤や護岸等の整備を進め、これまでに地質調査、詳細設計および用地測量が完了し、令和7年度は用地の取得に着手。取得が完了次第、砂防堰堤の築造に向けた搬入路工事を進める。

東秩父村の摩利支天沢の土石流対策について

Q 摩利支天沢(まりしてんざわ)は土砂災害警戒区域等に指定されており、早急な工事完成が望まれる。現在の状況と今後の見通しについて伺う。

A **県土整備部長** 令和6年度から用地取得に着手し、現在の用地買収率は94%となる。令和7年度は資機材搬入に必要な道路の整備を進め、その後、砂防堰堤の工事を行っていく。

皆野町の県道長瀬玉淀自然公園線の整備について

Q 県道長瀬玉淀自然公園線の三沢地内における道路の拡幅事業において、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

A **県土整備部長** 県道の三沢川にかかる蓑山橋から高原牧場入口バス停付近までの約1.8km区間のうち、南側約1kmを現道拡幅区間、北側約0.8kmをバイパス区間として整備を進めている。南側の現道拡幅区間から事業に着手し、令和7年度は2つの橋りょうの架け換え工事を進めるとともに、現道の拡幅工事も実施している。バイパス区間については、令和6年度から用地取得を進め、現在の用地買収率は27%。引き続き用地取得を進めていく。

長瀬町の国道140号の歩道整備について

Q 国道140号の長瀬中学校から野上駅前交差点までは歩道が無く、野上駅を利用する生徒などが危険な状況である。歩道整備の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

A **県土整備部長** 令和5年度から用地取得を行っており、現在の用地買収率は39%で、引き続き用地の取得を進め、まとまって用地が確保できた箇所から順次工事を実施する。

小鹿野町の県道小鹿野影森停車場線の歩道整備について

Q 県道小鹿野影森停車場線の歩道整備の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

A **県土整備部長** 令和6年度から着手し、これまでに路線測量や歩道の設計が完了。令和7年度は用地測量を進めている。円滑な交通と安全の確保に向けて早期整備に取り組んでいく。

※一般質問の様子は動画でご覧になれます。



※一般質問の全文はこちらでご覧になれます。



地域の発展をめざし日々全力!!

第75回全国植樹祭に参加

5月25日、第75回全国植樹祭が開催され植樹を行いました。



小鹿野町合併20周年記念式典に出席

9月14日、小鹿野町合併20周年記念式典が開催され出席しました。



▲森真太郎小鹿野町長(中央)、皆本富男小鹿野町議会議長(右)と

大滝トンネルを視察

7月21日、暫定開通前の大滝トンネルを視察しました。



▲清野和彦秩父市長と

秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会に参加

9月14日、秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会が開催され参加しました。

▶大野元裕知事(左)、西村耕一秩父商工会議所会頭(中央)と

